令和９年度

学 校 推 薦 型 選 抜
学 生 募 集 要 項



峰ヶ丘講堂（大正13年建築）

豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

宇 都 宮 大 学

https://www.utsunomiya-u.ac.jp

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです

STEP 1 事前準備 → STEP 2 出願サイトにアクセス → STEP 3 マイページの登録 → STEP 4 出願内容の登録 → STEP 5 入学検定料の支払い → STEP 6 必要書類の郵送 → STEP 7 出願完了 → 受験票の印刷

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、顔写真データなど



STEP 2 インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイトURL ▶ **https://e-apply.jp/ds/utsunomiya-u/**



STEP 3 マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 > を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。

※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う > ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをおしてください。

STEP 4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



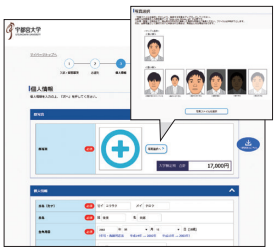
①マイページログイン後の
出願手続きを行う > ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ > ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



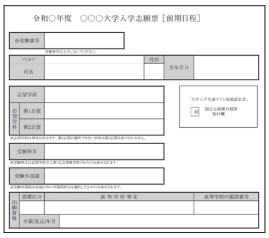
⑥出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号 メモ(13桁)													

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済 番号メモ(11桁)											

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ(11桁)											

確認番号 メモ(6桁)						

収納機関番号 (5桁)	5	8	0	2	1

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
セイコーマート

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi
ローソン
ミニストップ
マルチコピー機
ファミリーマート

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン

店頭レジ
↓
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
↓
「払込票番号（13桁）」を伝える
↓
レジで検定料を現金で支払う
↓
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー

店頭レジ
↓
レジで「オンライン決済」と伝える
↓
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
↓
レジで検定料を現金で支払う
↓
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

ローソン ミニストップ

Loppi
↓
「各種番号をお持ちの方」を選択
↓
「お客様番号（11桁）」入力
↓
「マルチペイメントサービス」を選択
↓
「確認番号（6桁）」入力
↓
支払い内容確認
↓
発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う
申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
↓
取扱明細書兼領収書を必ず受け取る

ファミリーマート

マルチコピー機
↓
「代金支払い/チャージ（コンビニでお支払い Payment/Charge）」を選択
↓
「お客様番号（11桁）」入力
↓
「確認番号（6桁）」入力
↓
支払い内容確認
↓
発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う
申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
↓
取扱明細書兼領収書を必ず受け取る

セイコーマート

店頭レジ
↓
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
↓
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
↓
レジで検定料を現金で支払う
↓
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM

ペイジー対応銀行ATM
↓
「税金・料金払い込み」などを選択
↓
収納機関番号「58021」を入力
↓
「お客様番号（11桁）」入力
↓
「確認番号（6桁）」入力
↓
支払い内容確認
↓
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う
↓
ご利用明細書を必ず受け取る

STEP 6

必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全てカラー印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「書留・速達郵便」で郵送してください。

出願に必要な書類は、学生募集要項を
参照して準備してください。
インターネット出願サイトから印刷する書類以外にも
高校等に請求いただく書類や本学のホームページから
様式をダウンロードして作成する書類がありますので、
注意してあらかじめ準備をすすめてください。



出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）
に貼り付けて作成

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

「Web志願票」の印刷方法



(1) マイページに表示された 願書等の印刷 のボタンをクリックしてください。

(2) お支払いが正常に完了すると 願書等の印刷 のボタンがクリックできるようになりWeb志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。出願登録、検定料の支払は出願締切日15時（営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります）です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 7

受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自でA4用紙にカラー片面印刷をして試験当日に持参してください。





宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、22ページをご覧ください。

また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予、学生寮の優先的入居などについて、できるだけの配慮を致します。困難な状況が続いていると思いますが、是非とも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩んでください。応援しています。

なお、最終ページに栃木県の高校生を対象とした奨学金のご案内を掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

【学校推薦型選抜主要日程】

出願受付
令和８年11月４日(水)～11月９日(月)

↓

試験日
令和８年11月28日(土)

↓

合格者発表
令和８年12月９日(水)

↓

入学手続
令和８年12月21日(月)・22日(火)

インターネット出願 事前登録期間	インターネット出願登録 及び入学検定料支払い期限	出願期間（必着）
令和８年 10月26日（月）～	令和８年 11月９日（月）15時	令和８年 11月４日（水）～ 11月９日（月）17 時

～個人情報の取扱いについて～

本学では、出願に際し提出いただいた氏名、生年月日、性別、住所、写真、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報は、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

① 入学者選抜、入学手続など入学までの一連の業務

② 入学後の修学関係（学生証交付、履修指導、名簿作成等）及び学生生活関連（奨学金、授業料免除等）の業務

③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

《目　　次》

1　宇都宮大学の理念と方針、教育目標 …… 1
2　宇都宮大学のアドミッション・ポリシー …… 1
3　募集人員 …… 16
4　出願資格 …… 17
5　出願手続 …… 19
(1)　出願方法 …… 19
(2)　出願期間 …… 19
(3)　提出方法・提出先 …… 19
(4)　入学検定料について …… 19
(5)　事前準備について …… 20
(6)　出願書類等 …… 21
(7)　出願書類に関する注意事項 …… 22
(8)　入学検定料免除について …… 22
(9)　受験票の印刷について …… 22
6　疾病・負傷や障がい等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談 …… 23
7　選抜の方法及び選抜日等 …… 24
(1)　選抜の方法 …… 24
(2)　選抜の日時及び試験場 …… 25
(3)　試験時間割 …… 25
8　受験上の注意事項 …… 26
(1)　試験当日の注意事項 …… 26
(2)　不正行為 …… 26
9　入試過去問題の使用について …… 27
10　合格者発表 …… 27
11　入学手続 …… 27
(1)　手続期間 …… 27
(2)　入学手続方法 …… 28
(3)　入学手続時に必要な納付金等 …… 28
(4)　入学後に必要な諸経費 …… 28
(5)　マイナンバーカードの使用について …… 28
12　留意事項 …… 28
13　その他 …… 29
14　令和８年度学校推薦型選抜入学者選抜状況 …… 30
15　試験場案内図 …… 31

1　宇都宮大学の理念と方針、教育目標

★理念と方針

宇都宮大学は、人類の福祉の向上と世界の平和に貢献することを理念とし、広く社会に開かれた大学として、質の高い特色ある教育と研究を実践するため、次の基本的な方針を定めています。

1　幅広く深い教養と実践的な専門性を身につけ、未来を切り開く人材を育成します。

2　持続可能な社会の形成を促す研究を中心に、高水準で特色のある研究を推進します。

3　地域社会のみならず広く国際社会に学び貢献する活動を積極的に展開します。

この理念と方針を基に、次の「教育目標」を掲げています。

★教育目標

1　基盤教育を出発点として、現代社会に必要な汎用的能力（宇大スタンダード）を育成します。

2　専門教育を通じて、実践的で専門的な知識と技能を涵養します。

3　それらのふたつを有機的に結びつけた４年一貫教育により、幅広い教養と行動的知性を備え、未来の社会を拓き支える人材を育成します。

宇大スタンダード

【論理的思考力】	筋道を立てて論理的に物事を考える力
【情報活用力】	情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する力
【表　現　力】	感情や思考などを伝達可能な形式に表し、効果的・印象的なものとして伝える力
【学　修　力】	一人称で物事を捉え自ら行動し、進んで新しい知識・能力を身に付けようとする力 変化に対応し、自らを変えようとする力
【協　働　力】	チームの中で協力しながら自分の役割や責任を果たす力 多様な人々との繋がりや協働を生み出す力
【課題解決力】	多面的な視点から現状を分析し、目的や課題を明らかにする力 課題解決に向けた計画を立案し、自律的に取組む力

2　宇都宮大学のアドミッション・ポリシー

宇都宮大学アドミッション・ポリシー

求める学生像と受入れの基本方針

1　未来を切り開いていこうとする夢と情熱を持っている人

2　知的好奇心に富み、専門職業人として持続可能な社会の形成や発展に貢献したい人

3　教養と専門知識を修得するために必要な基礎的な学力とコミュニケーション力を持っている人

国際学部 国際学科
アドミッション・ポリシー

Ⅰ プログラムの概要

国際学科では、グローバル化する地域の現状と課題を多文化共生の視点から読み解き、社会を構想していく能力やコミュニケーション能力、行動力、協調性を備えた、グローバルな実践力をもつ人材の育成をめざしています。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、グローバル化と多文化共生に関する知識・理解に基づき学際的かつ専門的に諸課題を考察する能力、複言語能力やコミュニケーション能力、資料・データ・文献の収集分析能力、論理的に研究成果をまとめ発表し議論する能力、実践的に行動する能力を獲得し、グローバル化する世界の問題解決に積極的に関与できる学生に「学士（国際学）」の学位を授与します。

Ⅱ 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1) 大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2) 英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3) 自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	国際学科では、グローバルな実践力に富む人材の育成を目指し、人文社会諸科学を融合させた体系的なカリキュラムを編成しています。多文化共生コア科目（国際関係論、異文化間コミュニケーション、Global Civil Society）(1年次)、多文化共生基礎科目（1～2年次）から専門外国語科目（2年次～）、グローバル専門科目（2年次～）、国際キャリア教育科目（2年次～）、専門演習・実験実習科目（3年次前期）の各科目群を経て、卒業研究準備演習（3年次後期）、卒業研究（4年次）へと段階的に学修を深めていきます。	多文化共生を軸とした専門教育の基礎となる主要な知識、論点を理解する能力、実用的かつ学術的な英語の運用能力、英語以外の外国語を学修し、多様な地域や文化を理解しコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度を有していること。また、社会文化的課題や問題を多様な地域や論点と関連づけ、多角的に理解する能力、グローバルな視点から問題を整理・分析する能力、自ら課題を設定し、資料・データ・文献を収集し、適切な方法で分析し、論理的にまとめ発表する能力（文書及び口頭）、その成果に基づいて生産的に議論する能力、課題解決に関与する実践的行動力を身につけるための基礎的学力と意欲を必要とします。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

国際学科における教育課程を確実に修得するためには、高等学校で履修する教科・科目を広く学び、基礎的な知識を身につけておくことが求められます。また、様々な知識や情報をもとに、自分の考えをまとめ発信するためには、読解力に加え、論理的に考えを文章化する能力や、思考と感性を効果的に相手に伝える表現力、英語を中心とした外国語の運用能力が必要です。また、国際的な社会的文化的事象に対して幅広い知識と関心をもち、自分の関心のあるテーマについては、図書館やインターネットなどを利用して自分で調べる習慣や、調べたことをもとに多様な人々とコミュニケーションをとる能力や意欲を持っていることが重要です。
上記のことに加え、学習活動などを通して、主体性をもって他の人々と協働し、共に学び合うという態度をもった学生を歓迎します。

Ⅲ 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

①高等学校教育課程の総合的学力を基礎とした広く基本的な知識を持ち、外国語の運用能力と、論理的な作文能力を備えている人
②多文化共生社会に関する問題について主体的に探求し、学修意欲に優れ、多様な現象について論理的に考え、思考と感性を表現することに適性を持っている人
③学修経験や国籍に関係なく、国際的な問題に高い意識を持ち、それらを論理的に論じることのできる能力を持っている人
④多様な外国語や情報収集・分析・発信の方法を学び、多様な地域や文化を背景とする人々とコミュニケーションをとりたいと思っている人
⑤多様な地域・文化を背景とする人々の存在に目を向け、共に学びあいながら、共に生きていく社会について考えたいと思っている人
⑥世界の様々な国と地域に関心を持ち、グローバル化する地域と世界の多文化共生のために自分の力を活かしたいと望んでいる人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）	大学入学共通テストと個別学力検査等の結果、並びに出願書類（調査書）を総合して選抜を行います。広範かつ基本的な知識、それを活用した国際的な社会的文化的事象についての思考力・判断力・表現力、本学科での学修に必要な基礎的な外国語運用能力、主体性等をみることに主眼をおきます。
学校推薦型選抜	出願書類（調査書、自己推薦書等）と面接を総合して選抜を行います。高等学校における学業成績等と、本学科で学ぶための適性や意欲、コミュニケーション能力、国際的な社会的文化的事象に関する課題を理解し、知識を活用して導き出した自分の考えを自分の言葉で語ることのできる表現力をみることに主眼をおきます。
総合型選抜 B（帰国生）	出願書類（成績証明書等）、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。国際的な社会的文化的事象に対する関心、主体的かつ協調的に学修する意欲、文章理解力、思考力、論理構成力、表現力、帰国生としてこれまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科で学修する適性と必要な学力をみることに主眼をおきます。
総合型選抜 C（社会人）	出願書類（志望理由書等）、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。国際的な社会的文化的事象に対する関心、主体的かつ協調的に学修する意欲、文章理解力、思考力、論理構成力、表現力、社会人としてこれまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科で学修する適性と必要な学力をみることに主眼をおきます。
総合型選抜 D（外国人生徒）	出願書類（志望理由書等）、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。国際的な社会的文化的事象に対する関心、主体的かつ協調的に学修する意欲、文章理解力、思考力、論理構成力、表現力、外国人生徒としてこれまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科での学修に必要な学力をはかり、適性をみることに主眼をおきます。
私費外国人留学生選抜	出願書類（成績証明書等）、日本留学試験の成績、英語外部試験のスコア、学力検査等を総合して選抜を行います。大学で学ぶための基礎学力を重視し、日本留学試験では「日本語」「総合科目」「数学（コース 1）」を評価対象とします。国際的な社会的文化的事象に対する関心、主体的かつ協調的に学修する意欲、論理的に考察する力、日本語を正確に理解し、表現する力、これまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科での学修に必要な学力をはかり、適性をみることに主眼をおきます。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆			
		個別学力検査	☆☆☆	☆☆	☆			
		小論文	☆☆☆	☆☆				
		出願書類（調査書）	○					
学校推薦型選抜		面接	☆	☆☆☆			☆☆☆	
		英語外部試験	○					
		出願書類（自己推薦書等）	☆☆☆	☆☆☆			☆☆☆	
総合型選抜	B（帰国生）	英語外部試験	☆☆☆			☆		
		面接	☆	☆☆☆			☆☆☆	
		小論文	☆☆	☆☆☆		☆	☆	
		出願書類（成績証明書等）	○					
	C（社会人）	英語外部試験	☆☆☆			☆		
		面接	☆	☆☆☆			☆☆☆	
		小論文	☆☆	☆☆☆		☆	☆	
		出願書類（志望理由書等）	☆☆☆	☆☆☆			☆☆☆	
	D（外国人生徒）	英語外部試験	☆☆☆			☆		
		面接	☆	☆☆☆			☆☆☆	
		小論文	☆☆	☆☆		☆	☆	
		出願書類（志望理由書等）	☆☆☆	☆☆☆			☆☆☆	
私費外国人留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆			☆		
		日本留学試験	☆☆☆			☆		
		面接	☆	☆☆☆			☆☆☆	
		小論文	☆☆☆	☆☆		☆	☆	
		出願書類（成績証明書等）	○					

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

共同教育学部 学校教育教員養成課程 アドミッション・ポリシー

Ⅰ プログラムの概要

本学部は 4 系 13 分野（教育・教育心理・特別支援教育・国語・社会・英語・数学・理科・技術・音楽・美術・保健体育・家政）から構成されています。群馬大学との共同教育学部であり、卒業単位のうち一部の授業は双方向遠隔授業システムを使って実施しています。また、2 年次、3 年次には両大学合同での対面授業も行われます。小学校 1 種及び所属分野の教科を主とした中学校・高等学校 1 種の教員免許の取得を目指すことができます。学部全体では小・中・高・特別支援学校及び幼稚園の全校種に対応した教員養成プログラムを整備し、多様な教育現場での活躍を視野に学修できる体制を整えています。プログラムにはこれらの教員免許を取得するための授業科目と教育実習等の教育実践科目があります。教育実践科目では附属学校での教育実習をはじめ学校現場での豊富な実践的活動が展開されています。共同教育学部ではこのプログラムで「宇大スタンダード」に定める汎用的能力と専門分野に関する知識・技能を獲得した学生に「学士（教育学）」の学位を授与します。

Ⅱ 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1) 大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2) 英語や健康、データサイエンス、SDGs など、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3) 自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの 6 つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	共同教育学部では、各種教員免許を取得するため、また、実践的指導力のある教員を養成するためのカリキュラムを構成しています。専門教育科目として、全ての学校種の教員としての基礎となる教育原論や教職論等の教育基礎科目、小学校の教科内容・指導法に関する授業科目、中学校・高等学校・特別支援学校の教員免許のための専門知識・技能や指導法の授業科目があります。さらに、学校現場での子どもへの指導や関わりを通して実践力を高める教育実践科目を備えています。	教育基礎科目や小学校の教科内容・指導法に関する科目は、学部の全ての学生が受講します。群馬大学との遠隔授業が多く含まれます。知識を獲得するだけでなく、両大学の学生と共に学び合う意欲や姿勢が求められます。中学校・高等学校・特別支援学校の教員免許のための専門知識・技能や指導法の授業科目では、その教科や学校種の教員になるための強い興味や関心、教科の学力が必要です。教育実践科目では、児童・生徒や学校現場の教員と関わりながら学ぶ意思、使命を持ってやり抜く意欲や態度が求められます。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

「教師」という職業への興味・関心を高めてください。探究活動などで教師の仕事や使命について調べ、省察してみるのも良いでしょう。特定の教科の先生を目指す人は、その教科の知識・技能を磨き、より深く追究してください。教師という仕事の特性から、「人」に興味を持ち、人と関わり合うこと、身近なことから世界のことまで幅広く興味を持ち、視野を広げること、多様なジャンルの読書から学ぶことなども大切です。また、教師はこれからの教育を牽引する職業でもあります。課外活動など、正課の授業だけでは得られない新しい体験にも積極的に臨み、そこから学んだことをよく振り返りましょう。

Ⅲ 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

①高等学校における履修内容を理解し、教職をめざすために必要な基礎学力を身につけている人
②自己の考えを的確に表現し他者に伝えることができ、他者が表現する考えを受けとることができる人
③ものごとを複数の視点から考察し、自ら判断することができる人
④「学ぶ」「教える」「育てる」「発達する」という行為・現象について関心があり、これらのことについて学習意欲のある人
⑤様々な活動に主体的に取り組むことができると共に、他者と協働することができる人
⑥教職を目指す明確な意思と情熱を有し、子どもの成長に関わることに喜びを感じられる人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト、及び個別学力検査等の結果を総合して各系ごとに選抜を行います。大学入学共通テストでは基礎学力を評価します。個別学力検査等では、教育人間科学系、人文社会系、自然科学系の３つの系で小論文と面接を、芸術・生活・健康系の中の音楽・美術・保健体育分野で実技検査と面接を、家政分野で小論文と面接を課します。面接では全ての系に共通して教職への関心や適性を問います。
総合型選抜 A（一般）	教職に携わる意欲、子どもの発達と教育への関心、それぞれの学校種・教科の教育方法を学ぶために必要な基礎的知識、論理的思考力、表現力、主体性等を多面的・総合的に評価します。 出願書類及び各分野で課す選抜方法を総合して選抜を実施します。
学校推薦型選抜	将来、栃木県の小学校教員として活躍することに強い希望と意思を持ち、小学校教員としての適性を有する人を選抜します。学校教育教員養成課程全体で一つの選抜を行います（※1）。 出願書類と合わせて、面接及び小論文の試験を課します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の３要素」との対応			知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆					
		面接		☆☆			☆☆	☆☆☆
		小論文 ※2	☆☆	☆☆	☆☆☆			
		実技検査 ※2	☆☆☆					
		出願書類（調査書）	○					
		出願書類（スポーツ活動調査書）※3	☆☆					
総合型選抜	A（一般）	講義レポート作成 ※4		☆☆☆				
		グループディスカッション ※4				☆☆☆	☆☆	
		小論文 ※4	☆☆	☆☆☆				
		基礎能力試験 ※4	☆☆☆					
		実技検査等 ※4	☆☆☆					
		プレゼンテーション及び面接 ※4	☆☆	☆☆☆		☆☆	☆	☆☆
		面接 ※4	☆☆	☆☆☆		☆☆	☆	☆☆
		出願書類（調査書）	○					
		出願書類（志望理由書）	○					
		出願書類（受験者本人が記載する活動報告書等）※5		☆☆☆			☆	
学校推薦型選抜		面接		☆☆		☆☆☆	☆	☆☆☆
		小論文	☆☆	☆☆	☆☆☆			
		出願書類（調査書）	○					
		出願書類（推薦書）	○					

※1 入学者の系・分野振り分けは入学時に本人の希望等により決定します。
※2 芸術・生活・健康系音楽分野、美術分野、保健体育分野では実技検査を課します。これら以外の分野では、小論文を課します。
※3 保健体育分野の選抜で課されます。
※4 総合型選抜 A（一般）では各分野ごとに課す検査が異なります。詳細は各選抜の選抜方法を参照ください。
※5 教育分野、英語分野、理科分野、音楽分野及び保健体育分野の選抜で課されます。内容は、各分野ごとに異なります。
(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

工学部 基盤工学科
アドミッション・ポリシー

Ⅰ プログラムの概要

各自の志向に合った専門を極めつつ幅広い知識をも備え、様々な知見と技術を繋いで新しい社会を創出できる技術者を養成します。工学的視点で社会・人間・生命を見つめるための教養と工学に関わる基礎学力を身につけ、種々の技術分野の概要と最新動向に関する知識を得て、各自の志望コース（応用化学、機械システム工学、情報電子オプティクス）を選択します。各々の専門知識を蓄え関連技術を修得しながら、その周辺分野に学修範囲を広げます。さらに「卒業研究」を通して、柔軟な発想で新技術を創生する力と、それを社会へ適用するデザイン力を身につけます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（工学）」の学位を授与します。

Ⅱ 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1) 大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2) 英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3) 自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの６つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	１年次には、線形代数・微積分学、物理・化学、データ科学など、工学を学ぶ上で必須の基礎知識を学修します。また、ものづくりを実践する科目、心／身体と工学との結びつきを学ぶ科目、コース入門科目により各専門分野の概要と最新動向に触れ、コース選択の準備をします。 ２年次以降、コース専門科目群により各々の高度な専門知識や技能を身につけます。さらに、卒業研究を通じて、問題解決力・デザイン力を養います。また、光工学科目群、分野横断科目群により幅広い専門性を身につけます。	本教育課程に沿って主体的・継続的に学修するためには、高等学校教育課程の特に化学・物理・数学など理数系科目に関する基礎学力を身につけておくことが必要です。また、応用化学・機械システム工学・電気電子工学・情報科学・光工学など、工学の専門分野のいずれかに強い興味と関心を持ち、“将来工学技術者として社会に貢献したい”という熱意を持つことが望まれます。さらに、物事を科学的、論理的に思考し判断しようとする姿勢、その経過や結果を他者に適切に伝えようとする姿勢が、社会で活躍できる技術者・研究者に成長するために必要です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

工学の基盤となる概念や法則の学修に備え、「数学」や「理科」等の基礎知識と、それを基に物事を科学的に捉える習慣を身につけましょう。また、実験などの共同作業、レポート作成、研究発表等の機会が頻繁にあるので、「国語」や「英語」で文章の読解力や記述力を身につけ、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を養って下さい。課題解決に主体的に取り組み、得られた成果を次の課題設定に活かすという経験も貴重です。加えて、倫理観を備え、地域や人々の多様性を理解し、社会で広く活躍できる技術者・研究者に育つために、地歴公民に関する一般知識や常識を学習しておきましょう。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

①高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人
②「工学の専門分野*」を学ぶ上で基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人
③科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人
④「工学の専門分野*」に興味と関心があり、それを活用した工夫やものづくりによって社会に貢献する熱意や行動力をもつ人
⑤主体性をもちつつ、様々な人々と協働して学ぶ姿勢や必要なコミュニケーション力をもつ人

＊「工学の専門分野」とは、化学・機械・情報・電気電子・光工学の各専門分野を指します。

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）	「化学系」と「機械・情報電子系」の２つの入試区分にわけて募集します。入試区分毎に定めた配点割合にしたがって、主として共通テストと個別学力検査等（数学・理科・英語）の結果を総合し、入学者を選考します。共通テストの結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。個別学力検査等により、「工学の専門分野*」を学ぶための基礎能力を評価します。
一般選抜（後期日程）	基盤工学科として一括募集します。主として共通テストと個別学力検査等（小論文）の結果を総合し、入学者を選考します。共通テストの結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。個別学力検査等（小論文）により、「工学の専門分野*」への興味・関心の深さと論理的思考能力を評価します。
総合型選抜A（一般）	「化学系」と「機械・情報電子系」にわけて募集し、それぞれにおいて出願書類審査（自己推薦書とプレゼンテーション資料の内容）、プレゼンテーションと質疑応答、及び面接の結果を総合して入学者を選考します。プレゼンテーションの内容は、「化学系」では化学あるいは理科全般に関して取り組んだ課題、「機械・情報電子系」では理数系分野に関して取り組んだ課題に関するものとします。またそれに対する質疑応答には、「化学系」では“化学”の、「機械・情報電子系」では“数学”や“物理”の基礎知識の確認も含まれます。面接に関しては、入学後の抱負や勉学に対する意欲などのほか、関連する「工学の専門分野*」への興味と関心の強さをそれぞれ評価します。
総合型選抜A（特別）未来デザイン型入試	GSC事業等のプログラムの修了者 ** を対象として、「化学系」と「機械･情報電子系」にわけて募集し、それぞれにおいて出願書類審査（自己推薦書とプレゼンテーション資料の内容）、プレゼンテーションと質疑応答及び面接の結果を総合して入学者を選考します。プレゼンテーションと質疑応答及び面接は、総合型選抜（一般）と同様に行いますが、それに加えて、未来を切り開いていこうとする夢と情熱を強く持ち、入学後、他の学生を感化し牽引できるようなリーダーシップを有しているかどうかも評価します。
学校推薦型選抜	一般推薦として「化学系」と「機械・情報電子系」の２つの入試区分にわけて募集します。調査書及び基礎能力試験（数学・理科・英語）と面接の結果を総合し、入学者を選考します。調査書及び基礎能力試験の結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。面接により、それぞれの系に関連する「工学の専門分野*」への興味・関心の深さと論理的思考能力を評価します。この他、「機械・情報電子系」では専門高校・総合学科推薦枠でも募集します。選抜方法は一般推薦と同じですが、面接では、高校等における専門分野に関する学習や経験についての試問があります。
私費外国人留学生選抜	基盤工学科として一括募集します。主として日本留学試験、英語外部試験及び学力検査（数学・理科）の結果を総合し、入学者を選考します。英語外部試験及び学力検査により、工学部で学ぶための基礎能力を評価します。面接により、「工学の専門分野*」への興味・関心の深さと論理的思考能力などを評価します。

＊＊ GSC事業等のプログラムの修了者とは、科学技術振興機構の支援を受けて大学等で実施する高校生等を対象としたグローバルサイエンスキャンパス事業及びそれらの後継事業、ならびに次世代科学技術チャレンジプログラム事業の第一段階修了者を指します。詳細は学生募集要項を参照ください。

２年次からのコース配属に関するルールは入試区分毎に異なります。詳細は右記リンクを御確認下さい。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆	
		個別学力検査	☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆	
		出願書類（調査書）			○		
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆	
		小論文			☆☆☆	☆☆	
		出願書類（調査書）			○		
総合型選抜	A（一般）	プレゼンテーション・面接	☆☆		☆☆☆		☆☆☆
		出願書類（調査書）			○		
		出願書類（自己推薦書）	☆☆		☆☆☆		☆☆
	A（特別）	プレゼンテーション・面接	☆☆		☆☆☆		☆☆☆★
		出願書類(調査書･GSC事業等の修了証)			○		
		出願書類（自己推薦書）	☆☆		☆☆☆		☆☆
学校推薦型選抜		基礎能力試験	☆☆☆	☆	☆		
		面接			☆☆	☆☆☆	☆☆☆
		出願書類（推薦書）			○		
		出願書類（調査書）	☆☆		☆		☆☆
私費外国人留学生選抜		英語外部試験		☆☆☆		☆☆	
		日本留学試験	☆☆☆	☆	☆☆	☆	
		学力検査	☆☆☆		☆☆	☆	
		面接			☆☆	☆☆☆	☆☆☆
		出願書類（成績証明書等）			○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの
(iii) ★は、☆に加えて点数・評価に加算のあることを示す。

農学部 フロンティア食品科学科
アドミッション・ポリシー

Ⅰ プログラムの概要

生物資源のさまざまな可能性、特に嗜好と健康に与える影響について明らかにし、加工による食品の機能強化や生物資源の持続的活用などの科学技術の発展のために、基本的かつ応用的な教育研究を行います。食品や食材などの新しい未来を開拓することで、持続可能で健全な食の推進など農学のポストハーベスト分野で社会に貢献することのできる行動的知性を備えた人材（技術者）を育成します。
「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

Ⅱ 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1) 大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2) 英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3) 自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの６つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。持続可能で健全な食社会を推進する人材を育成するため、以下の専門科目群を開設します。 『食品の材料の科学』科目群：生物資源や食品などの可能性を解明する知識を修得する。 『食品の加工・機能性の科学』科目群：食品の加工による機能強化、生物資源の持続的活用に関する知識を修得する。 『実験・実習・演習』科目群：食品の嗜好、健康への影響の評価に必要な科学的技能を修得する。 『健全な食の科学』科目群：広い視点で、農学関連分野における価値創出力と課題解決力を培う。	食品の加工による機能強化や生物資源の持続的活用など、科学技術発展に貢献する意欲を持っていることが望まれます。 食品や食材などの新しい未来の開拓や持続可能で健全な食の推進について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせて筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
②フロンティア食品科学の基礎となる理科（化学あるいは生物）及び英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
④フロンティア食品科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
⑤常に問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科（化学あるいは生物）及び英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
総合型選抜A（一般）	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GDと略す）、GDのレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、フロンティア食品科学で必要とされる基礎学力を、GDでは主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力を中心に評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
総合型選抜A（特別）未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GDと略す）、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜A（一般）の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5分）及び質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性及び学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆		
		出願書類（調査書）	○					
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆☆	
		出願書類（調査書）			○			
総合型選抜	A（一般）	論述試験	☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆	
		GD・レポート	☆		☆☆		☆	
		出願書類（調査書）	○					
		出願書類（自己推薦書）	○					
	A（特別）	論述試験	☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆	
		GD・レポート	☆		☆☆		☆	
		プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆☆	
		出願書類（調査書）	○					
		出願書類（自己推薦書）	○					
学校推薦型選抜		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		小論文	☆☆	☆	☆☆☆			
		出願書類（推薦書）	○					
		出願書類（調査書）	○					
私費外国人留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆					
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類（成績証明書等）	○					

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 生物生産イノベーション科学科 アドミッション・ポリシー

Ⅰ プログラムの概要

動物・植物・昆虫・微生物・土壌を対象に生物生産の過程や仕組み、生命科学などについて理解を深めるとともに、そこで得た知識を実社会で活用することができるように、アクティブラーニングを導入した教育プログラムを編成しており、農学関連分野においてイノベーションを創出できる行動的知性を備えた人材（技術者）を養成します。
「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

Ⅱ 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1) 大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2) 英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3) 自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの６つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。生物生産科学の専門性とイノベーションの基礎を修得した人材の育成のため、以下の専門科目群を開設します。 生物生産基礎科目群：生命科学や生物生産を学ぶために必要な自然科学の基礎を修得する。 生物生産応用科目群：生物を解析し、活用するための基礎的な技能や実践的能力を養う。 生物生産基幹科目群：生物生産の観点から生物や農業を取り巻く環境を理解する。 生物生産イノベーション科目群：農学関連産業に直結した実践的な知見と先進的な技術を身につける。	自然科学の基礎理論と、生物生産に関わる基礎知識を理解し、農学における技術革新に貢献する意欲を持っていることが望まれます。農学関連産業の意義と重要性について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせて筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
②生物生産イノベーション科学の基礎となる理科（生物あるいは化学）及び英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
④生物生産イノベーション科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
⑤生物生産イノベーション科学関連分野への関心と問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科（生物又は化学）及び英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
総合型選抜A（一般）	出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答、面接を総合して選抜を行います。プレゼンテーション及び質疑応答では、高等学校などにおける理科全般あるいは生物に関する探究活動について発表し、質問に答えるとともに、他者の発表についても質問してもらい、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
総合型選抜A（特別）未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答、面接を総合して選抜を行います。プレゼンテーション及び質疑応答では、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動について発表し、質問に答えるとともに、他者の発表についても質問してもらい、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性及び学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆		
		出願書類（調査書）	○					
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆☆	
		出願書類（調査書）	○					
総合型選抜	A（一般）	プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆	
		面接	☆		☆☆☆		☆☆	
		出願書類（調査書）	○					
		出願書類（自己推薦書）	○					
	A（特別）	プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆	
		面接	☆		☆☆☆		☆☆	
		出願書類（調査書）	○					
		出願書類（自己推薦書）	○					
学校推薦型選抜		面接	☆☆		☆☆		☆☆	
		小論文	☆☆	☆	☆☆☆			
		出願書類（推薦書）	○					
		出願書類（調査書）	○					
私費外国人留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆					
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類（成績証明書等）	○					

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 環境システム科学科
アドミッション・ポリシー

Ⅰ プログラムの概要

持続的かつ合理的な流域圏の基盤をデザインするための知識や技術を身につけ、農学分野の課題解決や発展に貢献することのできる行動的知性を備えた人材（技術者）を養成します。2年生後期から、①農業環境工学プログラム、②森林科学プログラムのいずれかに分属し、学科共通の専門領域の学修に加え、それぞれの専門領域について学修します。この2プログラムではそれぞれ、①田園空間の総合的デザインや食料生産環境システムの設計・制御に関わる専門技術者、②森林の木材生産と環境保全に関わる専門技術者の育成が図られます。なお、両プログラムはJABEE（日本技術者教育認定機構）による技術者教育プログラムとしての認定を受けており（予定）、卒業と同時に修習技術者となり、技術士補の国家資格を得ることができます。
「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

Ⅱ 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1) 大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2) 英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3) 自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。持続的な流域圏の基盤のデザインを担う技術者を育成するために、以下の専門科目群を設置します。 基礎科目群：環境システム科学に関する基礎理論を修得する。 環境基盤系科目群：流域圏の基盤のデザインに関わる基礎知識を修得する。 環境計測系科目群：空間デザインのための技術を修得する。 融合・応用科目群：社会的要求の変化に応じた合理的かつ柔軟な対応を学ぶ。 農業環境工学技術系・森林科学技術系科目群：専攻分野の技術者として社会に貢献するための専門知識・技術を修得する。	自然科学の基礎理論と持続的かつ合理的な流域圏のデザインを理解し、環境問題の解決やデジタル技術の活用に貢献する意欲を持っていることが望まれます。持続可能な流域圏の生産基盤をデザインについて幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

本学科では豊かな流域環境の創出・管理・評価、スマート農林業などを活用した持続的な食料・木材生産、気候変動へのしなやかな対応などに関する学識を身につけ、社会の幅広い分野で活躍できる技術者を育成することを目指しています。高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせて筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
②環境システム科学の基礎となる理科（生物）あるいは数学及び英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
④環境システム科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
⑤環境システム科学関連分野への関心と問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科（生物）又は数学、及び英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
総合型選抜A（一般）	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GDと略す）、GDのレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、環境システム科学で必要とされる基礎学力を、GDでは主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力を中心に評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
総合型選抜A（特別）未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GDと略す）、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜A（一般）の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5分）及び質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性及び学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆		
		出願書類（調査書）	○					
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆☆	
		出願書類（調査書）			○			
総合型選抜	A（一般）	論述試験	☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆	
		GD・レポート	☆		☆☆		☆	
		出願書類（調査書）	○					
		出願書類（自己推薦書）	○					
	A（特別）	論述試験	☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆	
		GD・レポート	☆		☆☆		☆	
		プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆☆	
		出願書類（調査書）	○					
		出願書類（自己推薦書）	○					
学校推薦型選抜		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		小論文	☆☆	☆	☆☆☆			
		出願書類（推薦書）	○					
		出願書類（調査書）	○					
私費外国人留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆					
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類（成績証明書等）	○					

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 エコロジカル社会経済学科
アドミッション・ポリシー

Ⅰ プログラムの概要

食料やその生産基盤となる農林業に関する問題について、経済学や社会学など社会科学の領域から研究・教育を行います。農業生産や環境負荷、消費者ニーズ、循環社会、政策など幅広い専門知識や理論を理解し、誰一人取り残されることなく、十分な食料を確保し続けられる持続可能なエコロジカル社会に貢献することのできる行動的知性を備えた人材を育成します。
「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

Ⅱ 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1) 大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2) 英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3) 自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの６つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。食、農林業、環境及び経済を分析し、持続可能な社会の構築を担う人材を育成するために、以下の専門教育科目群を設置します。 基礎科目群：社会科学の基礎を修得する。 応用科目群：農学の対象を分析する力を修得する。 演習系科目群：課題発見や解決に資する論理的思考力・判断力や情報収集・分析力を磨く。社会・地域で適切な解決策を見出し、実践できる行動力を身につける。	食料やその生産基盤となる農林業に関する諸問題の解決に貢献する意欲を持っていることが望まれます。環境と社会と経済の持続可能性について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせて筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

Ⅲ 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
②様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
③エコロジカル社会経済学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
④常に問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
⑤農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人
⑥エコロジカル社会経済学関連分野への関心を持ち、本分野の発展に貢献する意欲を持っている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「文系型」あるいは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では小論文あるいは数学、及び英語により基礎的な知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「文系型」あるいは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
総合型選抜A（一般）	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GDと略す）、GDのレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、エコロジカル社会経済学で必要とされる基礎学力を、GDでは主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を，レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基礎的な知識を中心に評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
総合型選抜A（特別）未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GDと略す）、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜A（一般）の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5分）及び質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎的な知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験、小論文及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性及び学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性等		
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆				
		個別学力検査	☆☆☆	☆☆				
		出願書類（調査書）	○					
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆				
		面接		☆☆			☆☆☆	
		出願書類（調査書）	○					
総合型選抜	A（一般）	論述試験	☆☆	☆☆				
		面接		☆☆			☆☆	
		GD・レポート	☆	☆☆			☆	
		出願書類（調査書）	○					
		出願書類（自己推薦書）	○					
	A（特別）	論述試験	☆☆	☆☆				
		面接		☆☆			☆☆	
		GD・レポート	☆	☆☆			☆	
		プレゼンテーション・質疑応答	☆☆	☆☆☆			☆☆	
		出願書類（調査書）	○					
		出願書類（自己推薦書）	○					
学校推薦型選抜		面接	☆☆	☆☆			☆☆	
		小論文	☆☆	☆☆☆				
		出願書類（推薦書）	○					
		出願書類（調査書）	○					
私費外国人留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆					
		日本留学試験	☆☆☆	☆☆				
		小論文	☆☆	☆☆☆				
		面接	☆☆	☆☆			☆☆☆	
		出願書類（成績証明書等）		○				

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

本学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、１つの学部・学科・課程・系・分野に限られます。
なお、本学の学校推薦型選抜に出願した者は、他の国公立大学における学校推薦型選抜に出願することはできません。

3　募集人員

学部	推薦区分	学科・分野等		募集人員	摘要＊ (学校長が推薦できる人数)
国際学部	一般推薦	国際学科		36	2名以内
	計			36	
共同教育学部	一般推薦	学校教育教員養成課程	全ての系・分野＊＊	20	
	計			20	
工学部	一般推薦＊＊＊	基盤工学科	化学系	10	
			機械・情報電子系	25	
	専門高校・総合学科推薦＊＊＊＊	基盤工学科	機械・情報電子系	5	
	計			40	
農学部	一般推薦	フロンティア食品科学科		7	
		生物生産イノベーション科学科		8	2名以内
		環境システム科学科		6	
		エコロジカル社会経済学科		5	
	専門高校・総合学科推薦	フロンティア食品科学科		2	
		生物生産イノベーション科学科		3	2名以内
		環境システム科学科		4	
		エコロジカル社会経済学科		2	
	計			37	
合計				133	

＊　複数の課程（全日制、定時制、通信制）を置く高等学校は、各課程において、上記の摘要欄に記載されている人数以内で推薦できます。

＊＊　共同教育学部に合格し入学した者の系・分野振分けは、１分野５名を上限として入学時に本人の希望等により決定します。

＊＊＊　工学部基盤工学科の一般推薦については、化学系と機械・情報電子系の２つの系に分けて入学者選抜を行います。化学系に合格し入学した者は２年次より応用化学コースに配属されます。機械・情報電子系に合格し入学した者は、本人の希望と１年次の成績により機械システム工学コース又は情報電子オプティクスコースに配属されます。

＊＊＊＊　専門高校・総合学科推薦に合格し入学した者は、出願時の希望配属コースに従って２年次より機械システム工学コース又は情報電子オプティクスコースに配属されます。

4　出願資格

○　一般推薦

次の①及び②に該当し、かつ③の志望学部・学科・分野等の要件の全てを満たす者とします。

①　次のいずれかに該当する者

（ア）高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和９年３月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき令和８年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者

（イ）文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和８年度中に修了又は修了見込みの者

（ウ）高等専門学校の第３学年を令和９年３月修了見込みの者

②　本学に入学後、意欲的に勉学に励むと出身学校長が責任をもって推薦する者。ただし、共同教育学部学校教育教員養成課程にあっては、本学に入学後、学校教員を目指して意欲的に勉学に励むと出身学校長が責任をもって推薦する者

③　各学部・学科・分野等別の要件（下表）

学　部	推薦区分	学科・分野等	要　　件
国際学部	一般推薦	国　際　学　科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ②実用英語技能検定（「英検」（従来型）、「英検S-CBT」、「英検S-Interview」）スコア1950点以上、TOEIC Listening & Reading（公開テスト）スコア550点以上、GTEC（CBTタイプ又は検定版(Advancedタイプ)）スコア930点以上、TEAP（4技能）スコア225点以上、TEAP CBTスコア420点以上のいずれかを取得している者（注１） ③調査書の学習成績概評がB以上の者
共同教育学部（注２）	一般推薦	学校教育教員養成課程 全ての系・分野	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ②将来、栃木県内の小学校教員として活躍することに強い希望と意志を有する者 ③調査書の学習成績概評がB以上の者
工学部	一般推薦	基　盤　工　学　科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ②調査書の学習成績概評がB以上の者
農学部	一般推薦	フロンティア食品科学科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ②調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
		生物生産イノベーション科学科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ②調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
		環境システム科学科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ②調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
		エコロジカル社会経済学科	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ②調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者

（注１）国際学部国際学科の要件②は、入試の実施日から、実用英語技能検定（一次試験と二次試験にまたがって実施された試験については一次試験日とする）、TOEIC Listening & Readingは過去３年以内、GTEC（CBTタイプ又は検定版(Advancedタイプ)）、TEAP（４技能）、TEAP CBTは過去２年以内に実施した試験のスコア等を有効とします。有効とする検定試験の詳細は21ページを参照してください。

（注２）学校推薦型選抜において共同教育学部に出願する者は、本学の総合型選抜Ａ（一般）では共同教育学部に出願することはできません。

○ 専門高校等推薦

次の①及び②に該当し、かつ③の志望学部・学科の要件の全てを満たす者とします。

① 次のいずれかに該当する者

（ア）高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和９年３月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき令和８年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者

（イ）文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和８年度中に修了又は修了見込みの者

（ウ）高等専門学校の第３学年を令和９年３月修了見込みの者

② 本学に入学後、意欲的に勉学に励むと出身学校長が責任をもって推薦する者

③ 各学部・学科・系別の要件（下表）

学　部	推薦区分	学科・系	要　　件
工学部	専門高校・総合学科推　薦	基盤工学科 機械・情報電子系	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校の普通科以外の職業教育を主とする学科若しくは総合学科において、学業成績及び人物が優れた者（注） ②調査書の学習成績概評がＡの者
農学部	専門高校・総合学科推　薦	フロンティア食品科学科	①高等学校(特別支援学校の高等部を含む)、中等教育学校の普通科以外の職業教育を主とする学科若しくは総合学科において、農業あるいは家庭に関する科目を履修し、学業成績及び人物が優れた者（注） ②調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上の者
		生物生産イノベーション科学科	①高等学校(特別支援学校の高等部を含む)、中等教育学校の普通科以外の職業教育を主とする学科若しくは総合学科において、農業に関する科目を履修し、学業成績及び人物が優れた者（注） ②将来、農業及び農業関連産業に従事し、この分野の指導的立場を目指す者 ③調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上の者
		環境システム科学科	①高等学校(特別支援学校の高等部を含む)、中等教育学校の普通科以外の職業教育を主とする学科若しくは総合学科において、農業に関する科目を履修し、学業成績及び人物が優れた者（注） ②調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上の者
		エコロジカル社会経済学科	①高等学校(特別支援学校の高等部を含む)、中等教育学校、 在外教育施設若しくは高等専門学校の農業に関する学科又は商業に関する学科において、学業成績及び人物が優れた者。また総合学科において農業あるいは商業に関する科目を併せて20単位以上履修し、学業成績及び人物が優れた者（注） ②農業・食料・環境に関わる社会問題や農山村地域のくらしに関心のある者 ③調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上の者

（注） 各要件に記載されている出身学科（工業に関する学科、農業に関する学科、商業に関する学科、家庭に関する学科等）に該当するか疑義のある場合、又は各要件に記載されている科目等名に該当するか疑義のある場合は、10月14日（水）までに学務部入試課へ問い合わせてください。

5　出願手続

(1) 出願方法

出願はインターネット出願のみの受付です。出願手続の手順は以下のとおりです。

Step１	学生募集要項の確認	出願手続を始める前に、この学生募集要項をよく読んで、内容をご確認ください。
▼		
Step２	インターネット出願登録 （詳細は20ページ）	下記のアドレスからインターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。 (https:// e-apply.jp/ds/utsunomiya-u/)
▼		
Step３	入学検定料の支払い （詳細は19ページ）	インターネット出願サイトの指示に従い、入学検定料を支払ってください。
▼		
Step４	必要書類の印刷 （詳細は21ページ）	インターネット出願サイトから必要書類を印刷してください。
▼		
Step５	必要書類の送付	インターネット出願サイト及び本学ホームページから印刷した必要書類と、他の全ての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう「書留・速達郵便」で郵送してください。
▼		
Step６	受験票の印刷 （詳細は22ページ）	出願が受理された方は、出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。志願者各自が印刷して、必ず試験当日に持参してください。

(2) 出願期間

	出願期間	インターネット出願登録 及び入学検定料支払い期限	出願書類到着期限(必着)
学校推薦型選抜	令和８年11月４日(水) ～11月９日(月)	令和８年11月９日(月) 15時	令和８年11月９日(月) 17時

出願書類到着期限後に到着したものは受理しませんので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

(3) 提出方法・提出先

原則として書留・速達郵便による郵送とします。郵送では間に合わないなど、やむを得ない事情がある場合には、出願期間中の９時から17時までに持参してください。

〒３２１－８５０５　栃木県宇都宮市峰町３５０　宇都宮大学　学務部入試課

(4) 入学検定料について

入学検定料は17,000円です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「コンビニエンスストア」「郵便局・銀行ATM」「インターネットバンキング」「クレジットカード」のいずれかの方法でお支払いください。

入学検定料は、出願書類を受理した後にはいかなる理由があっても返還しません。なお、入学検定料の免除を申請する方は、「（８）入学検定料免除について」を参照の上、出願登録画面で「入学検定料の免除を申請します」にチェックを入れてください。

(5)　事前準備について

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕をもって確認及び準備してください。	
パソコン等の準備	インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 また、入学志願票等PDF書類の表示・印刷にはアドビシステムズ社が配布しているAdobe Acrobat Readerが必要です。 ＜PC利用時推奨ブラウザ＞ ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 最新版 ※ブラウザのタブ機能を使用して複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作はしないでください。 前画面へ戻る場合はブラウザの「戻る」ボタンは利用せず、画面内に表示されている「戻る」ボタンを利用してください。 ※スマートフォン、タブレットを利用する場合は、各OSの標準ブラウザを利用してください。 ※利用しているブラウザで表示が崩れる場合は、他のブラウザにて確認してください。
メールアドレスの用意及びメールの設定	出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 @e-apply.jp 出願時に登録したメールアドレスに、以下の４回メールが送信されます。 ①インターネット出願登録入力中のテストメール ②出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③入学検定料支払完了時の自動送信メール ④受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール ※受験票を印刷するまで、メールアドレスは変更しないでください。
志願者本人写真（データ）の用意	インターネット出願登録にあたって、顔写真データ（ファイル形式自由、２ＭＢまで）が必要です。写真は本人確認に使用しますので、出願前３か月以内に撮影した正面、上半身、 脱帽、背景なしのカラー写真データを用意してください。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。
その他必要書類の用意	高等学校等が発行する「調査書」等、インターネット出願サイトから印刷する様式以外の紙媒体の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ用意してください。（「(６)出願書類等」参照）
角形２号封筒の用意	出願書類提出のために、市販の角形２号封筒（240㎜×332㎜）を用意してください。
様式印刷の用意 （プリンタ、用紙等）	インターネット出願サイトから出力する様式類は、Ａ４サイズ普通紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンタ及び印刷用紙（普通紙、ＰＰＣ用紙、ＯＡ共通用紙、コピー用紙等）を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません。（個人情報の取り扱いには十分注意してください。）

(6) 出願書類等

出願に必要な書類はこの表で確認してください。

○印は、各学部への出願に必要となる書類を示します。

表中の「◇」印の書類はインターネット出願登録後にインターネット出願サイトから印刷する書類、「◆」印の書類は、本学ホームページの入試情報のページから様式を印刷して作成する書類です。（入試情報ページ https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/）

出願書類等	国際学部	共同教育学部	工学部	農学部	摘　要
◇入学志願票	○	○	○	○	インターネット出願サイトからＡ４サイズでカラー印刷してください。 写真は、インターネット出願ページにて出願前３か月以内に正面向、上半身、無帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。 写真の比率は縦４×横３、ファイルサイズは２ＭＢまでです。
◆推薦書	○	○	○	○	出身学校長が作成し、厳封したもの。 本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、Ａ４サイズで作成してください。
調査書	○	○	○	○	出身学校長が作成し、厳封したもの。 なお、地震、風水害等の影響で学校等が被災し、調査書の必要事項の一部が記入できない、又は調査書そのものが提出できない場合は必ず10月14日（水）までに学務部入試課へ相談してください。
◆自己推薦書	○	－	－	－	本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、Ａ４サイズで作成してください。
・実用英語技能検定（「英検」（従来型）、「英検S-CBT」、「英検S-Interview」）の「合格証明書」＊又は「英検CSEスコア証明書」＊ ・TOEIC（公開テスト）の「TOEIC Listening & Reading Official Score Certificate」＊ 又は「Digital Official Score Certificate」 ・GTEC（CBTタイプ又は検定版(Advancedタイプ)）の「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」 ・TEAP（4技能）、又はTEAP CBTの「成績表」 上記のいずれか１点	○	－	－	－	国際学部に出願する者のみ次のいずれか１つを提出してください。 ・実用英語技能検定（「英検」（従来型）、「英検 S-CBT」、「英検S-Interview」）の「合格証明書」又は「英検CSEスコア証明書」 入試の実施日から過去３年以内に実施された（一次試験と二次試験にまたがって実施された試験については、一次試験日とする）実用英語技能検定の「合格証明書」原本、又は「英検CSEスコア証明書」原本 ・TOEIC（公開テスト）の「TOEIC Listening & Reading Official Score Certificate」又は「Digital Official Score Certificate」 入試の実施日から過去３年以内に実施されたTOEICの「Official Score Certificate（公式認定証）」原本、又は「Digital Official Score Certificate（デジタル公式認定証）」PDFを印刷したもの ・GTEC（CBTタイプ又は検定版(Advancedタイプ)）の「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」 入試の実施日から過去２年以内に実施されたGTEC（CBTタイプ又は検定版(Advancedタイプ)）の「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」写し ・TEAP（４技能）、又はTEAP CBTの「成績表」 入試の実施日から過去２年以内に実施されたTEAP（４技能）又はTEAP CBTの「成績表」写し
◆入学検定料免除申請書	申請者のみ提出				地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、22ページ「(８)入学検定料免除について」を参照し、本学ホームページからダウンロードして作成し提出してください。
出願書類提出用封筒	○	○	○	○	市販の角形２号（240㎜×332㎜）の封筒を各自で用意してください。
◇出願書類提出用宛名シート	○	○	○	○	インターネット出願サイトからカラー印刷し「出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 出願に必要な書類を封入し、宛名シートの出願者チェック欄において、出願書類に漏れがないことをチェックした上で、「書留・速達郵便」にて郵送してください。

(7) 出願書類に関する注意事項

・インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。入学検定料を支払期間内に支払い、出願に必要な書類を提出期間内に本学に送付する必要があります。
・受理した出願書類等は、＊の書類（原本）を除き、いかなる理由があっても返還しません。＊の書類（原本）は、試験当日の受付時に返却します。
・受理した出願書類等の登録及び記載内容は変更できません。なお、氏名、現住所、連絡先又は電話番号に変更が生じた場合は、速やかに学務部入試課へ連絡してください。
・提出した出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学を取り消すことがあります。

(8) 入学検定料免除について

本学では、災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、入学試験を行う当該年度において日本国内で発生した、災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用された地域における地震、風水害等の災害（以下「災害」という。）により、次に該当する者です。

ア 主たる家計支持者（父母又はこれに代わって家計を支える者のうち、所得金額の最も多い者。以下「家計支持者」という。）が、災害救助法の適用地域において被災し、居住している又は居住していた家屋について、市区町村から次のいずれかに係る証明書を交付される者

（ア）全壊
（イ）大規模半壊
（ウ）半壊

イ 家計支持者が、災害により死亡又は行方不明となった者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする者は、出願時に、本学ホームページより様式をダウンロードして作成した入学検定料免除申請書に、次のいずれかの証明書（写し可）を添えて、申請してください。

ア ①アに該当する者

罹災証明書、被災証明書等

イ ①イに該当する者

㋐ 家計支持者が死亡した場合

家計支持者の死亡が確認できる書類

㋑ 家計支持者が行方不明となった場合

家計支持者の行方不明の事実が確認できる書類又は行方不明となったことに係る申立て（入学検定料免除申請書に記載してください。）

なお、提出書類について不明な点がある場合は、あらかじめ学務部入試課まで問い合わせてください。また、免除申請の要件を満たしていなかった場合は、入学検定料の納付について学務部入試課から電話にて連絡します。

(9) 受験票の印刷について

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。カラー印刷し、切り取り線に沿ってはさみで切り、試験当日に必ず持参してください。

出願時に登録されたメールアドレスへ、受験票の印刷ができるようになったことをお知らせするメールをお送りしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、令和８年11月16日(月)以降にインターネット出願サイトにログインして受験票を印刷してください。

6　疾病・負傷や障がい等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

疾病・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は、下記期限までのできるだけ早い時期に学務部入試課との相談を開始してください。

また、事前相談の期限後であっても、受験上及び修学上で配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

(1)　事前相談の期限

令和８年10月７日（水）まで

事前相談の期限後であっても、受験上及び修学上で配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

(2)　事前相談申請書の提出

事前相談申請書（様式はホームページに掲載 https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/faculty-entrance-exam/）に次の内容を記載し、医師の診断書(入学試験において必要な配慮が、具体的に記載されたもの。写しでも可とします。)を添えて学務部入試課に提出してください。

①　氏名、住所、連絡先電話番号、連絡可能な時間帯
②　志願予定の選抜の種類（学校推薦型選抜）、学部・学科等
③　疾病・負傷や障がい等の内容・程度
④　受験上の配慮を希望する事項
⑤　修学上の配慮を希望する事項
⑥　出身学校等で受けていた配慮の内容
⑦　日常生活の状況

7　選抜の方法及び選抜日等

(1)　選抜の方法

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さないで、出願書類の他、学部・学科等が課す面接・小論文・基礎能力試験の結果を総合して決定します。

学　部	学科・分野等	試 験 内 容	
国際学部	国　際　学　科	面　接	複数の面接員による集団面接（自己推薦書等に関する質問、国際的な社会的文化的事象に関する内容の討論を含む）を通じて、一般的な理解力・思考力・表現力とともに、国際的な事象に関する関心、知識、問題把握の能力を評価する。 〈具体的な方法〉 40分程度の集団面接を行う。面接に先立って、国際的な社会的文化的事象に関する内容の課題文（Ａ４、１～２枚程度）を読む。面接では、まず自己推薦書等に関連して一人ずつ自己紹介、自己アピールをする。次に、課題文に関する討論を行う。 〈評価の観点〉 国際的な事象に関する知識を活用する能力、課題文と他者の発言を理解する能力、問題点を把握する能力、自分の考えを論理的に構成して表現する能力、討論を建設的な方向に導く能力等、理解力・思考力・表現力・コミュニケーション力等を評価する。
共同教育学部	学校教育教員養成課程 全ての系・分野	小論文	基礎的知識とともに表現力や論理的思考力等を評価する。
		面　接	面接は集団面接とし、複数の面接員より20分程度実施する。調査書等をもとに、アドミッション・ポリシーで求める小学校教員への学修意欲・適性等をみる。
工学部	基　盤　工　学　科	基礎能力試験	理数系分野の基礎知識と論理的思考力をみる。 数学、物理、化学、英語など高等学校等で学習する内容に関する基礎知識や論理的思考力を評価する。
		面　接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10分～30分程度行う。理数系の基礎的な能力、適性、学修意欲、コミュニケーション能力などを評価する。なお、面接時間は受験者数や状況などに応じて変わる場合があるが、時間の長さは合否には影響しない。
農学部	フロンティア食品科学科	小論文	諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価する。
		面　接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10分～15分程度実施する。本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価する。
	生物生産イノベーション科学科	小論文	諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価する。
		面　接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10分～20分程度実施する。本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価する。
	環境システム科学科	小論文	諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価する。
		面　接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり15分～20分程度実施する。本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価する。数学又は生物に関する内容の試問を数分程度含む。
	エコロジカル社会経済学科	小論文	諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価する。
		面　接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10分～20分程度実施する。本学科で学ぶ適性を見るために、志望動機、社会的関心、将来の抱負などについて質問し、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価する。

(2)　選抜の日時及び試験場

区　分	学　部	選抜日	受付開始時刻 集合時刻	集合場所	試験場	試験開始時刻
学校推薦型選抜	国際学部	令和８年 11月28日（土）	８時 ８時30分	峰キャンパス４号館 Ｂ棟玄関ホール	宇都宮大学峰キャンパス 国際学部 （宇都宮市峰町350）	９時
	共同教育学部		８時 ８時30分	峰キャンパス８号館 Ａ棟玄関ホール	宇都宮大学峰キャンパス 共同教育学部 （宇都宮市峰町350）	９時
	工学部		９時 ９時30分	陽東キャンパス ２・３号館玄関ホール	宇都宮大学陽東キャンパス 工学部 （宇都宮市陽東7-1-2）	10時
	農学部		９時 ９時30分	峰キャンパス１号館 Ａ棟玄関ホール	宇都宮大学峰キャンパス 農学部 （宇都宮市峰町350）	10時

(3)　試験時間割

学部	学科・分野等	【国際学部・共同教育学部・工学部・農学部】　令和８年11月28日 9:00　10:00　11:00　12:00　13:00　14:00　15:00
国際学部	国際学科	面接 9:00～
共同教育学部	学校教育教員養成課程 全ての系・分野	小論文 9:00～ 10:00 面接 10:30～
工学部	基盤工学科	基礎能力試験 10:00～ 11:00 面接 12:00～
農学部	フロンティア食品科学科	小論文 10:00～11:30 面接 13:00～
	生物生産イノベーション科学科	小論文 10:00～11:30 面接 13:00～
	環境システム科学科	小論文 10:00～11:30 面接 13:00～
	エコロジカル社会経済学科	小論文 10:00～11:30 面接 13:00～

集合時刻は、各学部で実施する最初の試験科目の開始30分前です。
面接の終了時刻は、受験者数によるため未定です。

8　受験上の注意事項

(1)　試験当日の注意事項

① 試験当日は、インターネット出願サイトから印刷し、切り取り線に沿って切り取った「本学の受験票」を必ず持参してください。

② 試験当日は、指定された集合場所に、集合時刻までに集合してください。

③ 受験の際に机の上に置くことのできるものは、受験票、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのものに限る）、眼鏡、ハンカチ及びティッシュペーパー、目薬、鉛筆キャップだけです。

④ 下敷き、座布団は、監督者の許可を得たものに限り使用することができます。

⑤ 携帯電話・スマートフォン等は必ず電源を切り、監督者の指示に従ってください。

⑥ 天候等の影響で、交通機関が平常どおりに運行していない場合もあります。試験場には、時間に余裕をもって来るようにしてください。

⑦ 昼食は持参してください。（国際学部・共同教育学部を受験する場合でも、面接の順番等により、試験終了が午後になる場合があります）

⑧ 試験当日は、自動車及びバイクによる試験場内への乗り入れを禁止します。

(2)　不正行為

① 次のことをすると不正行為となります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した選抜区分の全ての成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

ア　インターネット出願において故意に虚偽の情報を登録したことにより、登録した情報をもとに作成される志願票、写真票に虚偽の内容があった場合や、解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど）をすること

イ　カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること

ウ　他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること

エ　配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと

オ　解答用紙を試験室から持ち出すこと

カ　監督者が試験開始を指示する前に、問題冊子を開いたり解答を始めること

キ　試験時間中に、使用が認められていない定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること

ク　試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること

※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（病気・負傷や障がい等により、試験時間中に補聴器等を使用したい場合は、受験上及び修学上の配慮に関する事前相談が必要です。）

ケ　監督者が試験終了を指示した後に、その指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること

コ　その他、試験時の説明で禁止された行為をすること

② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること
イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）をならすなど、試験の進行に影響を与えること
ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと
カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること
※ その他、試験時間中に使用できないものや身に付けることができないもの等が発見された場合も不正行為に該当する場合があります。

9 入試過去問題の使用について

本学の「アドミッション・ポリシー」に基づき、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」への参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。（必ず使用するとは限りません）

(1) 入試過去問題を使用して出題する場合は、一部を改変することもあります。
(2) 入試過去問題を使用して出題した場合は、入試終了後、受験者に分かるように本学ホームページ等で公表します。
(3) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学一覧は、次の URL をご覧ください。
https://www.nyushikakomon.jp/

10 合格者発表

(1) 発表日時

令和８年12月９日（水） 14時

(2) 合格者には「合格通知書」を速達で郵送します。また、ホームページ「http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html」においても合格者の受験番号を掲載する予定です。これは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず合格通知書により確認してください。
(3) 在籍する学校の学校長には、選抜の結果を通知します。
(4) 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。
(5) 入学前の学修支援について
合格者には、入学後の学修が効果的に進められるように、入学前に学修課題（例えば、レポートの提出）を与えることがあります。詳細は合格者に対し、各学部・学科等から通知します。
(6) 工学部基盤工学科化学系に合格した者に対しては、高校から大学入学への移行を円滑とすることを目的とし、高校生活への影響に配慮しながら入学前教育を実施します。入学前教育では、対面（あるいはWeb会議システム）による仲間づくり、及び大学での学修につながる基礎的な授業を行い、遠隔地からの参加も可能としています。複数回の実施を計画しており、第１回目を令和８年12月下旬頃に実施する予定です。詳細は合格者に対して、学部から通知します。

11 入学手続

(1) 手続期間

令和８年12月21日（月）・22日（火）〔ただし、22日は17時までに必着とします〕

※ 入学手続期間に入学手続を完了しない場合は、本学への入学資格を失い、さらに、「入学辞退願」により入学辞退を許可されない限り、他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）を受験してもその合格者とはなりません。
（※公立大学協会ホームページ（https://www.kodaikyo.org/?page_id=17050）参照）

(2)　入学手続方法

①　入学手続等に関する書類は、「合格通知書」送付の際同封します。

(3)　入学手続時に必要な納付金等

①　入学料　282,000 円

※1 入学料は予定額ですので、改定されることがあります。

※2 既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

②　TOEIC IPテスト受験料、学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料等（４年間分）12,400円〔令和８年４月現在〕

(4)　入学後に必要な諸経費

①　授業料　535,800 円（年額）

※1 授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※2 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が運用されます。

※3 授業料は、半期分（267,900円）をそれぞれ指定された銀行預金口座からの自動引落しによる口座振替の方法で納付することになります。（前期分授業料口座振替日は５月下旬）

② 教科書代 自己負担となります。

③ 実験・実習費 自己負担になることがあります。

(5)　マイナンバーカードの使用について

宇都宮大学では、令和３年度入学者からマイナンバーカードを図書館での館外貸出や夜間休日等の本学建物への入棟の際などに活用しています。詳細については、本学ホームページ「https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/campuslife/gakuseisyo.php」をご確認ください。

なお、マイナンバーカードの取得には、１～２か月程度かかりますので早めに手続きをお願いします。マイナンバーカードの申請方法等については、地方公共団体情報システム機構のマイナンバーカード総合サイト「https://www.kojinbango-card.go.jp/apprec/」をご確認ください。

12　留意事項

(1)　学校推薦型選抜の出願者は、学校推薦型選抜を除く本学及び他の大学の入学者選抜にも出願できます。ただし、共同教育学部に出願する者は、本学の総合型選抜Ａ（一般）において共同教育学部に出願することはできません。なお、他の大学に出願する際は、志望する大学の出願要件等に留意してください。

本学の学生募集要項は、総合型選抜Ｂ・Ｃ・Ｄ及び私費外国人留学生選抜は令和８年10月中旬から、一般選抜は令和８年11月上旬から公表する予定です。

(2)　工学部基盤工学科化学系では、大学入学共通テストを課しておりませんが、入学後の修学支援の参考とするため、合格者のうち、大学入学共通テストを受験した者については、可能な限り自己採点結果の報告をお願いしております。

(3)　学校推薦型選抜による合格者が、本学に入学手続を完了したときは、他の国公立大学を受験しても合格者となりません。

(4)　学校推薦型選抜で合格した者は、原則として入学辞退は認められません。

ただし、特別の事情があり入学を辞退する場合は、令和９年２月17日（水）までに「入学辞退願」（様式は自由）を提出し、必ず許可を得なければなりません。（「推薦入学の辞退を許可された者」でなければ、他の国公立大学を受験してもその合格者とはなりません）

(5)　国公立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、学校推薦型選抜の合格及び手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

(6)　こども性暴力防止法施行に伴うお知らせがあります。国際学部・共同教育学部・農学部で教員免許状の取得を考えている方は、必ず下記ホームページURLを確認してください。特に、共同教育学部は卒業要件に関係しますので、内容を十分に理解の上、出願してください。

https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/information/admissions/docs/kodomo.pdf

13　その他

(1)　学校推薦型選抜に関して不明な点は、次に照会してください。なお、入学試験に関する照会は、原則として志願者本人が行ってください。

〒321-8505　宇都宮市峰町 350
宇都宮大学学務部入試課
TEL ０２８－６４９－５１１２

※受付時間：平日９時～17時

(2)　受験者に対する宿泊のあっせんは行いません。

(3)　学校推薦型選抜の志願状況は11月11日（水）から11月23日（月）の17時まで公表します。

14　令和８年度宇都宮大学学校推薦型選抜実施状況

学校推薦型選抜

学部名	学科・分野等名			募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際学部	一般推薦	国際学科		36	83	83	36	36
	計			36	83	83	36	36
共同教育学部	一般推薦	学校教育教員養成課程	全ての系・分野	20	64	64	20	20
	計			20	64	64	20	20
工学部	一般推薦	基盤工学科	化学系	10	19	18	9	9
			機械・情報電子系	25	62	59	25	25
	専門高校・総合学科推薦	基盤工学科	機械・情報電子系	5	12	12	4	4
	計			40	93	89	38	38
農学部	一般推薦	フロンティア食品科学科		7	39	39	7	7
		生物生産イノベーション科学科		8	35	33	9	9
		環境システム科学科		6	15	12	6	6
		エコロジカル社会経済学科		5	16	15	5	5
	専門高校・総合学科推薦	フロンティア食品科学科		2	1	1	1	1
		生物生産イノベーション科学科		3	11	9	3	3
		環境システム科学科		4	7	6	4	4
		エコロジカル社会経済学科		2	8	4	2	2
	計			37	132	119	37	37
合計				133	372	355	131	131

15 試験場案内図

◎電車

●ＪＲ東北新幹線

東京駅 ---------- 約１時間 ---------- →
仙台駅 ----------約1時間20分---------- →　宇都宮駅

●ＪＲ宇都宮線（快速列車/普通列車）

上野駅 ---------- 約１時間30分/約２時間 ---------- →

●東武日光・宇都宮線

浅草駅 ---------- 約２時間 ---------- →　東武宇都宮駅

◎高速バス

●関東自動車

成田空港（第2ターミナル） ---------- 約２時間50分 ---------- →
羽田空港（第2ターミナル） ---------- 約２時間50分 ---------- →　宇都宮駅



【峰キャンパス】国際学部･共同教育学部・農学部試験場（ＪＲ宇都宮駅から約2.2km）

●ＪＲ宇都宮駅西口から

関東バス（14番乗り場）　真岡行、益子行、ベルモール行、星の杜中学校･高等学校行
乗車約10分「宇都宮大学前」下車　徒歩１分

●ＪＲ宇都宮駅東口から

ＬＲＴ　全ての便　乗車約６分「峰」下車　徒歩12分
関東バス（３番乗り場）　ベルモール行、卸団地循環線　乗車約10分「宇都宮大学前」下車　徒歩１分

●東武宇都宮駅から

関東バス（１番乗り場）　真岡行、益子行、ベルモール行、星の杜中学校・高等学校行
乗車約20分「宇都宮大学前」下車　徒歩１分

【陽東キャンパス】工学部試験場（ＪＲ宇都宮駅から約4.2km）

●ＪＲ宇都宮駅西口から

関東バス（14番乗り場）　真岡行、益子行、ベルモール行、星の杜中学校･高等学校行
・ベルモール行、経由の便　乗車約15分「工学部西」下車　徒歩２分
・その他の便　乗車約15分「工学部前」下車　徒歩６分

●ＪＲ宇都宮駅東口から

ＬＲＴ　全ての便　乗車約10分「宇都宮大学陽東キャンパス」下車 徒歩９分
関東バス（３番乗り場）　ベルモール行
・乗車約10分「工学部西」下車　徒歩２分
・乗車約10分「工学部前」下車　徒歩６分

●東武宇都宮駅から

関東バス（１番乗り場）　真岡行、益子行、ベルモール行、星の杜中学校・高等学校行
・ベルモール行、経由の便 乗車約25分「工学部西」下車　徒歩２分
・その他の便　乗車約25分「工学部前」下車　徒歩６分

栃木県の高校生の皆さんへ

入学応援奨学金（予約型奨学金）のご案内

宇都宮大学では本学への入学を希望しながら経済的理由により進学を断念せざるを得ない栃木県内の高校生に対して、選考の上、入学時に必要となる学資の一部を給付型奨学金として支給する制度を設けています。

◆申請資格（次の全てに該当する方）

１．令和８年度に栃木県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校を卒業見込みの者又は高等専門学校の第３学年を修了見込みの者

２．令和９年４月に本学学部正規課程の１年次に入学する予定の者（外国人留学生を除く。）で、本学に強く入学を志望する者

３．世帯の年間収入が500万円以下である者

４．令和９年度の総合型選抜Ａ（一般）・（特別）、学校推薦型選抜又は一般選抜（前期・後期）に出願し、合格した場合には入学することを確約できる者

※注：申請資格の３については令和８年度実績であり、今後変更となる場合があります。具体の申請資格については、必ず「入学応援奨学金（予約型奨学金）募集要項」でご確認ください。

◆支給額

30 万円（一時金）

◆採用予定者数

20 人程度

奨学金の要項及び申請用紙は、本学ホームページを参照ください。

https://www.utsunomiya-u.ac.jp
宇都宮大学ホームページ　トップ→受験生の方→学費免除・奨学金制度

【申請から給付までのスケジュール】

令和８年

９月下旬～10月上旬（予定）（消印有効）　申請受付期間

11月末（予定）　内定者決定通知

令和９年

４月　受給者決定、奨学金支給

【奨学金に関する問い合わせ先】

宇都宮大学学務部学生支援課学生支援係
TEL 028－649－5101

※在学する学校を経由して申請してください。入学試験出願書類に同封できません。

宇都宮大学
受験生ポータルサイト

https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/

又は右図二次元バーコードでご確認ください。

宇 都 宮 大 学 入 試 課
〒321-8505　宇都宮市峰町350
ＴＥＬ ０２８（６４９）５１１２